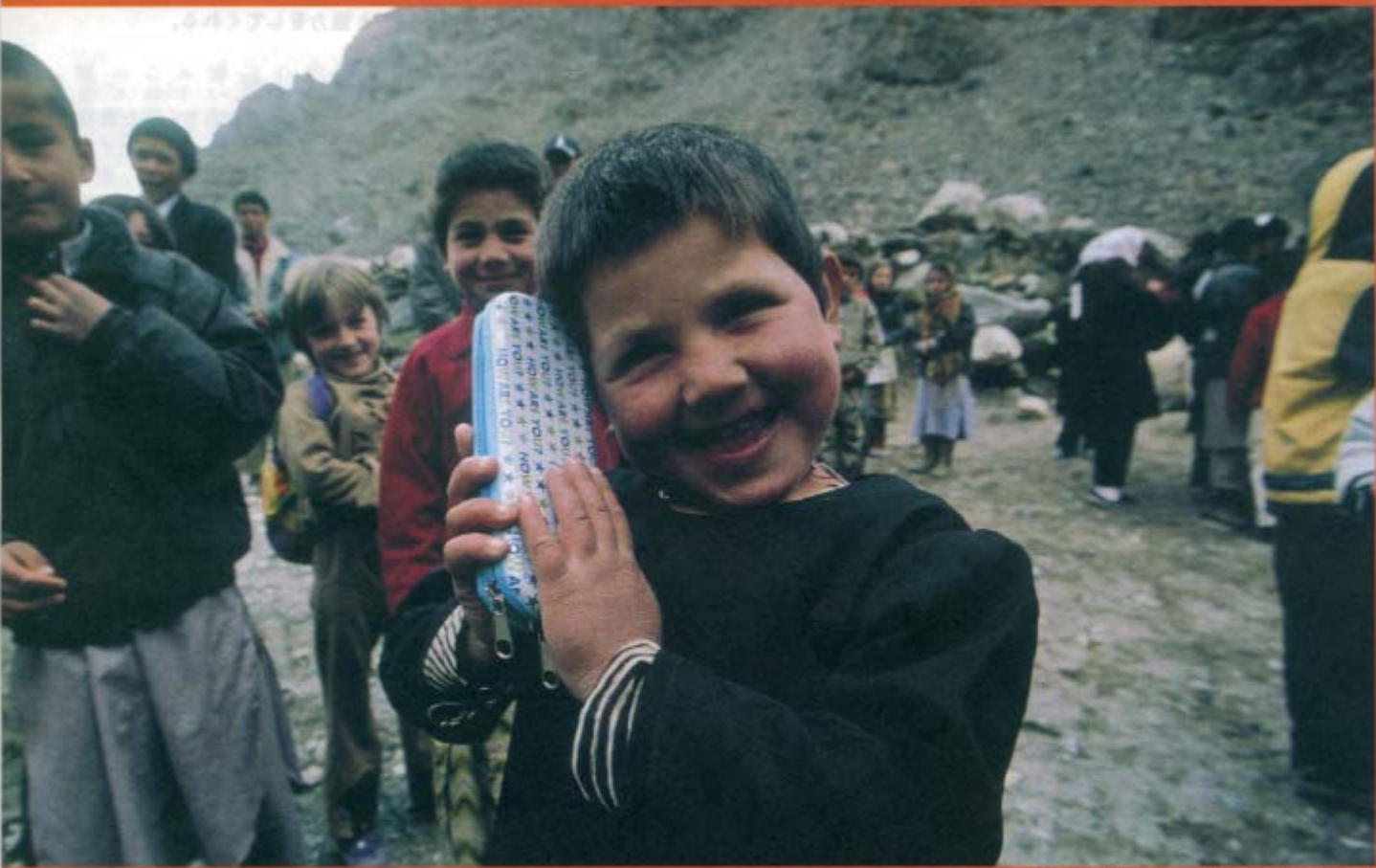


# 翼 ばあーる 山

## 特集 山の学校大図解!! 第2回総会報告 Part 2 質疑応答&アンケート回答



新しい携帯電話を手に、うれしそうなマリナちゃん

会の活動もいよいよ3年目に入りました。全国の会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。この会報がお手元に届くころは、山の学校は新しい子どもたちが入学したばかり。また雪の残る山路を、お兄ちゃん、お姉ちゃんに手をつないでもらって懸命に歩いてくる姿が目につかびます。まだ肌寒いポーランドにも間もなくアンスの花が咲き、6月には可憐な高山植物が咲き乱れる美しい季節がやってきます。マスードがポーランドの草原で気持ち良さそうに読書にふけていたのも、そのころでした。

今年の公式訪問は5月を考えていますが、年1回の現地訪問のため、やる事が盛りだくさんです。懸念である校庭用地取得の交渉促進、教室を明るくするための発電機購入、やっと始まった識字教室のクラスに、学校に通えない子が参加できるように親を説得できればと思います。首都から音楽や美術、スポーツを指導できる先生を月1回でも招ける可能性も探ります。ただ、問題は物価高。ガソリンは約15倍に上がるなど経費の高騰に頭が痛くなりそうです。

そんな中でも、私が心待ちにしているのは、子どもたちとの再会。写真撮影とインタビューに新1年生がどんな表情で応じてくれるか楽しみです。少し心配もあります。昨年、お母さんを亡くした泣き虫のジュマ・ハーンは元気に学校に来ているだろうか。落第してしまった1年のナユマや4年のサタールは無事、進級できただろうか。誰も大きな怪我はしていないだろうか。山の学校の子どもの様子を次号でご報告します。

また、下流のバザラックからは図書館を作ってほしいという要請がきていますが、また会には余力がありません。まずは足場をしつかり踏み固めること。そこから新たな展開も見えてくると思います。これからも引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

長谷川海



# 山の学校大図解

イラスト：近藤理恵

## \*トイレ——E

「離れ」にあるトイレは、オッフアリンの協力で建てられた。ドア付きの個室。入ったら、ドアの下に石を置いて鍵代わりに…。水洗式ではないけれど清潔。

## \*裏の空き地——F

2号表紙(左頁下の写真)で、男の子たちが、サッカーをしているのはココ! 大きな岩とクルミの木がある。サッカーにはびったりの場所。しかし、土地の持ち主から家畜用の草がダメになると抗議され、使用禁止に…。

## تشناب

トイレ(タシュナース)

## \*カプールへ

会の協力者・安井浩美さんの住む首都カプールまでは、車で約5時間。現在、カプール～パンシール間に舗装道路を建設中、2007年ごろ完成予定。

## \*バザラク——A

麗の小さな町バザラクは、パンシール県の県庁所在地。ポーランド村からは歩いて2時間、車なら30分。町長ハジ・サーズディンは、山の学校にもいろいろと協力をしてくれる。

## \*校舎——B

村人が、マスードからもらった資材で建てた自慢の校舎。さらにドイツNGOオッフアリンの支援で、壁・床・天井を改修。コの字型の建物には、6つの教室と職員室がある。

## \*学校前の道——C

3号表紙で、女の子たちがバレーボールをしているのはココ!

## \*教室——D

はじめは机や椅子はおろか、扉も窓ガラスもなかった。放課後には牛や羊も堂々と入ってくる教室で、子どもたちは地べたに座って、床や膝の上を机代わりにノートをとっていた。2003年代表訪問時に、各教室に扉、窓ガラス、机と椅子を購入、子どもたちは大切に使用している。現在、教室を明るくするために発電機の購入を検討中。

## مکتب ابتدایی

小学校(マクタベ アスタダーイ)

صنف  
教室(セنف)



前の教室の様子



現在の教室の様子

ポーランド小学校・4年生時間割		2005年8月現在				
	土	日	月	火	水	木
1	ダリ語	コーラン	幾何	幾何	地理	イスラム
2	歴史	ダリ語	イスラム	算数	ダリ語	ダリ語
3	図画	バシュツ語	体育	ダリ語	バシュツ語	歴史
4	算数	地理	ダリ語	コーラン	図画	理科
5	理科	書写	ダリ語	書写	バシュツ語	バシュツ語

## \*授業

1学年1教室。小学生たちが勉強する科目は、国語(ダリ語)、算数、理科、歴史、コーラン、書写、図画など。男の子と女の子が1つの教室で学ぶ男女共学は、この国ではまだまだ珍しく、代表がこの学校の支援を決意した理由のひとつにもなった。

## \*教職員

校長と男性教師5人、女性教師2人(中学1年も教えている)、そして用務員3人の総勢11人。学校の存続には、なにより大事なのが教師の確保。遅延しがちな政府からの給与支給は、1人につき毎月30ドル。会からは各20ドルの支援を行っていたが、優秀な人材の引き抜きが盛んに行われる状況を踏まえ、支援額を20ドルアップすることを昨年決定。安井さんによると「田舎でも生活費に毎月100ドルは必要」とのことだが、現状ではなかなか難しい。



用務員のアブドラさん



カリマ先生とナフィセ先生



左から、コーランを教えるカリム師、コラム先生、ヨシム先生、サブダル校長、1人おいて(退職されました)、ドスト・モハマッド先生、用務員のシャールさん、シャミルゼン先生、そして手前は用務員のメザメディンさん





### \*図書室——G

私たちは図書支援を活動の大きな柱のひとつとして、2004年夏に第1回図書寄贈を行った。以降2005年冬まで計4回、贈った図書は計160冊。昨年、スタッフが訪れた際にサブダル校長と行った読み聞かせに、目を輝かせて聞き入っていた子どもたち。今は、職員室の一角に本棚を設けた図書コーナーで、時間を決めて代わる代わる椅子に座りながら本を読んでいるようだ。どんな本がいいのか、まだまだ試行錯誤の状態だが、彼らが必要とする図書の寄贈を行ってきたい。

### \*車——H

女性教師2人を送迎するために購入した93年製のトヨタ・サーフ(ヨシム先生が運転手を兼任)。ケガ人・病人を町の病院まで連れて行くなど、学校のみならず村でも活躍中の中古サーフは、ガソリン代の高騰と円安、悪路にかさむ修理費の三重苦に苦しみながらも、今日も学校目指して走る走る!



車と用務員のメザメディンさん。地震で片足を失ってしまったが、また元気になってよかった!

### \*学校前の空き地——★

6号表紙で、子どもたちが縄跳びをしているのはココ! 山の学校は険しい山の中にあり、子どもたちが運動したり遊んだりする校庭のような広い場所はない。サッカーボールや縄跳びを贈っても、石がゴロゴロしている狭い道路や畑など、不自由な中で遊ぶしかないというのが現状。なんとか、子どもたちが自由に運動できる場所を確保できないものか…。



### \*用水路——J

川に沿って流れる用水路は、果物を冷やしたり、手足を洗ったり、とっても便利! 食べ損ねた朝ご飯のパンと一緒に、コップですくった水を飲む子どもも…。



### رود 川(ルーフ)

### \*ポーランド川——K

パンシール渓谷の雪解け水が流れる川はとても冷たく、そのせいか魚はいない。バザラックでパンシール川に合流した後、隣国パキスタンのインダス川上流に流れ込み、はるかアラビア海へ…。



### موتور 車(モーター)

### کوه 山(コ)

### کشتزار 畑(ケシュトザール)

### \*コンテナ——I

倉庫として使用。会から贈った運動用具やカバンなどを入れている。道を挟んで向い側にあるコンテナは、かつて職員室として使っていた。

\*上の村落へ  
落石も多く、道が遮断されることもしばしば。そんな時でも子どもたちは、石をよけながら学校へ通ってくる。

山の学校の子どもたちに校庭を!  
校庭用地借用計画  
当初は本会としては校庭用地の購入を考慮していましたが、該当する土地には多くの所有者がおり、皆売却には前向きではありませんでした。購入にこだわると名義など複雑な問題が出てくるため、借用へと方向転換をしました。★印付近が予定地ですが、大きな石の除去、道路スペースとの段差の整備など土木作業も必要になってきます。費用はかさみますが、整地には父兄の協力も得て、子どもたちが笑顔で安心してボールを追い駆ける場所を確保したいと思っています。



# 皆様からのおたより

●本日「翼6号」が届きました。日本も冷えています。アフガンはもつともつと厳しい冬を迎えているのです。想像しかできないですが、学校の子どもたちが今よりよい環境で暖かく勉強できるようになればと願います。子どもたちの表情、活き活きしてみんなすこくステキな笑顔ですね。元気がもたらえる気がします。小さなことしかできませんが、よろしかったら切手をお役立て下さい。お役に少しでも立てれば幸いです。

(大阪府・KMさん)

●翼6号感慨深く読みました。(支援物資を)現地で購入することが、現地の活性化にもつながるので、送料もさることながらこの方法は良いと思いました。それにはやはり資金が必要となりますが、私もやりくりして少しでも送金できるように努力しようと思っております。

(神奈川県・CEさん)

●先日の総会ではありがとうございました。おかげさまで、豊かな時間、温かい思いをいっぱいいただきました。長倉さんのマスコット司令官の思い出、そのお話、すばらしいものでした。深い温かい2人のお人柄を強く感じました。ご縁に連なることができて、うれしく、また小さいながら何かお役に立てればと願っています。

(埼玉県・ORさん)

皆様、お手紙ありがとうございました。私たち一人ひとりほんの小さな存在ですが、それぞれができることをできる範囲で力を合わせることににより、成し得ることがあると信じています。これからは子どもたちに温かく末永いご支援をいただければと思います。

★金費等を送る以外に、何か身の回りでできることはないかしら...? という会員の方へ

・山の学校ポストカードや本会のチラシを通して、お知り合いの方に山の学校や会の活動について紹介してみませんか?

・山の学校の写真パネルを貸し出しています。

ご友人やお知り合いと一緒に、学校や駅、喫茶店など小スペースで、パネル展を企画してみませんか?

(詳しくは事務局まで)



●この冬からの激しい肉体の痛みの持続が衰弱を心にまでおぼしめしましたが、心を遠くに飛ばす羽、そげんです。「翼」がはたはたと微動しはじめました。想いを持ちあえるという素晴らしいエネルギーの源となります。この度の通信からもひしひしと感じました。ニューオリズは高温多湿。暖かな手袋と靴下は

いつも温かいお便り、励ましのお便りをありがとうございます。今回はその中から何通かをご紹介させていただきます。

送ることができませんが、お金をおくります。どうか送料の足しにして下さい。そばにいたら皆さんにひと休みのお茶を配りましょう。

(米国カリフォルニア州・MMさん)

いつもアメリカからのご支援ありがとうございます。ご病気のことや昨年のハリケーン「カトリーナ」の被害もあり、どうされているかと心配しております。山の学校の子どもたち、そして「翼」の存在が、これからはMMさんの心に寄り添って、少しでもお力になることができれば願っております。



次は「少額ですがお使ください」とご自身の絵の個展の売り上げをご寄付くださった方からです。個展のお客様へ宛てたお手紙よりご紹介させていただきます。

●平和ってありがたいです。僕は平和な時を54年間も過ごすことができました。ありがたいです。その内の40年間は「極楽輪船(とんぼ)」とか「じゅんさいな人」と母によく言われていました。平和なおかげで、僕はいつもそう思います。僕は極楽輪船でじゅんさいな人で在り続けたいです。母の教えの通り。この世界に戦争が完全になくなるまで。今回の個展開催中、みなさんの感想をこ

そつと聞いていたら、「やさしい色づかいやな」「この絵見ていたら、ほつとするな!」「やさしい絵やな!」とか、笑顔で「この絵の代金は寄付やで、絵こうたんちがうで! 絵こうたんちがうで!」と念を押されたり、「これどこやろ」「イタリヤで書いてあるやんか」。また、かわいい子どもさんが「誰にでも描けそうや」「僕の方が上手にかけよう!」「ここに描かれている国に行ってみたいな」など、とても楽しい時間が持てました。うれしかったです。僕の思いを理解いただいているように。

そして、僕の絵で時間を持ってください。

「はつとした時間」「やさしい時間」、怒りや憎しみのない世界でひと休みする時間も持つてほしいものです。色々な方が色々な感じ方や見方をされたこと、平和のために絵をお買い上げいただいたことを心より感謝します。

(和歌山県・NMさん)

個展を通じて、山の学校や子どもたちをご紹介いただきありがとうございました。会場の雰囲気や、ご来場くださった方々の表情が思い浮かぶようなお便りに、心がふつと温かくなりました。大切な絵の売り上げからいただいたご寄付は、支援活動に大事に役立てたいと思います。

ばあーる編集担当 水間・佐々木・岩動





**Q** 女性の地位が低いので、アフガニスタンで女性が教育を受けることは難しいのでは?

**A** 地位が確立しているとはいえないかもしれませんが、「女性は家の太陽」という言葉があるくらい、女性は家の中で大きな役割を占めています。家の仕事や都合で学校に行けない子どもたちがまだ多いのが現実ですが、地域の親たちと話をしてみると、機会があれば教育を受けさせたいと考えている親は少なくありません。女の子の場合、地域内に中学校があれば通うことができるようになります。また、就学機会のなかったおとなの女性たちも、家の近くで識字教育が実施されれば教育を受ける機会が得られます。

**Q** 目標会員数1000人ということですが、会員増はそう簡単ではないのでは? 10年間の支援を続けるために、支援の優先順位をつけて、支援項目を絞って活動した方がよいのではないのでしょうか?

**A** 支援を縮小することはできる限りしたくないと思っています。現地の状況を見極め、本当に必要なことを優先して支援をしていきます。現地の支援を維持するために、いろいろな所で報告会などのイベントを開催して会員増に努めるとともに、助成金等も積極的に申請していきたいと考えています。

**Q** 手袋、靴下の呼び掛け時期について、何がどのくらい必要なのか等の情報が早に分かれれば、バーゲンの時などに安く購入し準備することができると思いますが、いかがでしょうか?

**A** ご協力ありがとうございます。子ども用の手袋は特に現地調達で難しいので、毎年1回夏～秋に送る予定です。また、地域経済への貢献と高額になる送料の節約のため、支援物資はできるだけ現地調達は基本としていますが、現地で入手困難で輸送費もあまりかからないようなものは、今後も必要に応じて日本から発送します。

【補足】物資の募集に際しては、会報やホームページを通じて、できるだけ早めに皆様にお知らせするよう努めてまいります。

## ● 質疑応答の概略 ●

**Q** 支援活動を考えると今の会費を見直してもよいのではないのでしょうか? 少し安すぎるような気がします。

**A** 誰もが参加しやすいようにと設定した金額ですので、値上げは考えていませんが、「女性の識字教育」や「校庭用地取得」など、支援プロジェクトごとに寄付を募っていきます。会員数を増やしていく努力も続けますので、ご協力をよろしくお願いたします。併せて、分割会費納入の継続もよろしくお願いたします。

(編集注) 質問に対するより適切なご説明となるよう、回答については東原の発言から表現を多少変更している箇所もあります。



**Q** 子どもの教育のためには設備や文具だけでなく、まず先生なのだ、ということが、今日よくわかった気がしました。資金は足りないが会費を値上げすることもできないとしたら、「1口3000円で何口でも可」のようにしてはどうでしょうか?

**A** 2014年3月までにお支払いいただく会費総額は3万円ですが、それを超える額に関しましては、ご寄付という形で随時受け付けております。

**Q** もともとこの会は、長倉さんの写真を通してマスードやアフガニスタンの社会情勢に詳しい人が多かったようですが、新しく入会した人や入会を考えている人には、そういった経緯を知らない人たちも多いと思います。そういう方を対象とした会の説明も必要になってくるのではないのでしょうか?

**A** 次の総会では、本会設立の経緯についての資料も配布したいと考えています。また、ホームページにある「会の生い立ち」のページもご覧いただければと思います。  
<http://www.h-nagakura.net/yamanogakko/about.html>

## ● いただいたアンケート&会からの回答 ●

**Q** 子どもたちがいつまでも学校を大好きでいてくれるように、ぜひ一日も早く校庭をつくってあげて下さい。そして音楽、図工の授業も充実することを願っています。

**A** 今後、音楽、図工、体育などの授業も受けられるようにしていきたいと考えています。校庭用地の確保は現在交渉中ですので、進展があれば会報にてご報告します。

**Q** (交流会で他の参加者の) 皆さんとお話できれば良かったです。特に長倉さんも交流会の中に加わって雑談されればよかったですと思います。

**A** 今回は本のサイン会に多くの時間をとられましたが、次の総会から、長倉代表も皆様との雑談に参加できるよう配慮します。

**Q** 分割での会費の納入状況が悪いようですが、会報を送る時に未納通知をはっきり分かるように表示するなど、現在の会員から必ず納入を続けてもらう努力が必要ではないのでしょうか?

**A** とても重要な課題だと考えています。現在は、未納の方へ会報送付時に振込用紙を同封したり、納入お願いの手紙をお送りしています。

**Q** ボランティアでツアーを組んで現地に行けたらいいなと思います。

**A** 現在は難しい状況ですが、現地の治安が改善され、平和が訪れれば、ツアーの実施も考えたいと思います。

**Q** 私もなんらかの形で応援できればと思います。

**A** 総会の準備や、会報発送作業などのお手伝いをお願いする「サポートスタッフ制度」をつくりましたので、事務局までお問い合わせ下さい。

**Q** 会員数をさらに増やし、活動をより充実させるには、知名度の向上が重要だと思います。

**A** 山の学校の子どもの写真パネルを貸し出すなど、一般の方々に会を知っていただく機会を作る計画をしています。会員の皆様のご紹介も大きな力になると思います。よろしくお願いたします。



## 【報告】神戸でパネル展開催

2月26日～3月4日と11日・12日、「山の学校写真パネル展」が、兵庫県立美術館王子分室、原田の森ギャラリーで開催されました。開催にあたっては神戸在住の会員3名とお手伝いの方を中心に、大阪の運営委員2名の協力のもと、2か月あまりの準備期間を経て、会場探しからチラシ制作、そして展示実務等が行われました。またパネル展と併せ、別会場では長倉代表によるスライド&トークも開かれ、61名の方に会場いただきました。



展示されたパネルは34点。来場者からは「子どもたちの目がきれい」「少し前の日本のよう」といった感想が。

初の本格的なパネル展ということもあり、様々な検討事項も報告されています。これらを参考として今後の展示がますます魅力あるものになるよう、企画の充実に努めていきたいと思っています。開催に尽力いただいたスタッフの皆様、お疲れさまでした！

- 本会の活動を簡単に紹介した「アフガニスタン山の学校支援のお願い・支援申込書」を一部改定しました。ホームページから入手いただけますが、ご連絡いただければ郵送もいたします。ご友人・知人の方への会の紹介にご活用ください。
- 子ども用手袋と靴下のご提供ありがとうございます。数量が揃いましたら今秋送る予定ですが、手袋の数がまだ足りないようです。ご協力をお願いいたします。
- 書き損じはがき・不要切手のご提供、大変助かっております。おかげさまで昨年度は約14万円もの送料予算を軽減することができました。今後も常時お受け付けております。
- 活動費補充のため「財団法人地球市民財団」の助成金を申請しました。審査の結果、対象外となりましたが、今後も積極的に助成金の申請を続けていきたいと思っております。
- 分割払い会員の皆様様に2006年度会費の納入をお願いいたします。郵便振替用紙を同封しましたのでご確認の上、指定期日までにお振り込みをお願いします。

## 事務局から

### 会計担当からの報告

会員数は3月末現在で734名、継続していただけなかった分割払い会員の方もおられましたので、実質701名です。一方、目標会員数は当初より上方修正を重ねて、現在は1000名となっています。以下に、活動経費のかさむ現状をご説明します。

- 教職員給与と支援…各国からの復興支援が活発化する中、物価・人件費が高騰しています。優秀な人材の引き抜きもよくあることで、教師も例外ではありません。先生が辞めてしまっただけは学校は存続できないため、昨年、1人20ドル/月、年間総額2760ドルの増額を決めました。
  - 暖房費…冬季4か月間の暖房に使用する灯油の値段が倍増しており、320ドルの経費増です。
  - ガソリン代…世界的なガソリンの高騰はアフガニスタンでも同様で、50ドル/月、年500ドルの支給増を決めました。
  - 車修理代…想像を絶する悪路のため修理代がかさんでいます。車を1年でも長持ちさせるための必要経費として、内容を吟味しながら支払っています。昨年度は約32万円かかりました。
- 以上の経費は再び値上がりしないとも限らず、また、ドル高円安傾向も拍車をかけています。さらに、進行中の識字教育や校庭用地プロジェクトにかかる経費は別途計上となります。

## ポーランドの小さな仲間たち

※年齢と学年は撮影当時(2006年3月)のものですが。



● Gue Bao  
グエ・バビちゃん(6歳)1年  
好きなもの：果物  
将来の夢：医者



● Habibullah  
ハビブラーくん(13歳)6年  
好きなもの：飛行機  
将来の夢：パイロット



● Juma Khan  
ジュマ・ハーンくん(10歳)3年  
好きなもの：車  
将来の夢：医者



● Shita  
シーラちゃん(9歳)2年  
好きなもの：テレビ  
将来の夢：先生

### 山の学校の会がテレビで紹介されます!

「石橋勝のボランティア21」(30分)

本会の活動や、現地の学校の様子が紹介されます。ぜひご覧ください。

放送局	放送日時	放送局	放送日時
テレビ北海道	4月20日 水 9:25	三郷テレビ	5月6日 土 8:30
新潟テレビ	4月24日 月 10:00	びわ湖放送	4月29日 金 9:30
北日本放送	4月24日 月 10:50	テレビ大塚	4月21日 金 10:00
東日本放送	4月29日 木 11:00	奈良テレビ	4月24日 月 9:30
とちぎテレビ	4月29日 土 7:30	テレビ和歌山	4月27日 木 8:30
新潟テレビ	4月25日 火 8:30	中国放送	4月25日 火 10:20
千葉テレビ	5月1日 月 10:30	山陰放送	4月24日 月 10:00
新潟放送	4月25日 火 10:50	テレビせとうち	4月26日 水 8:05
石川テレビ	4月24日 月 10:30	TVQテレビ九州	4月24日 月 8:30
福井テレビ	4月24日 月 9:55	熊本朝日放送	4月26日 金 10:10
岐阜放送	5月6日 土 9:30	沖縄テレビ	4月29日 土 10:55
テレビ静岡	4月26日 金 9:55	B/Sジャパン	4月26日 水 9:30
テレビ愛知	4月24日 月 10:00		

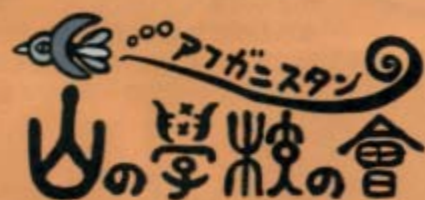
※放送日時の変更することもあります。詳細は各放送局までお問い合わせください。

### 第3回総会&現地報告会のお知らせ

日時：10月9日(月・祝日)  
場所：武蔵野芸能劇場(東京都武蔵野市)  
詳細は次号でお伝えしますが、決定次第ホームページでもお知らせします。

### 第2期(2006~07年度)役員のご紹介

代表：長倉洋海  
副代表：比留川征子 イトウソナム(新)  
会計：森桂子 尾崎義江(新)  
監査：中村里実



アフガニスタン 山の学校支援の会

〒187-0032  
東京都小平市小川町1-1071-15 比留川 気付  
FAX/留守番電話：042-345-7805  
URL: www.h-nagakura.net/yamanogakko  
郵便振替口座：00160-1-667404

印刷 ● (有)アドスタッフ

### 編集後記

今回の特集はいかがでしたか? すてきな山の学校のイラストは、真の魂字でおなじみの近藤理恵さんにご協力いただきました。次号では、長倉代表の現地報告をお送りします。お楽しみに!

● 岩動集 佐々木昭紀 水間真紀  
● イラスト ● 近藤理恵  
デザイン ● 原崎子(W/O DESIGN)

### 長倉洋海 最近&今後の活動

- スライド&トーク  
「戦禍をのりこえて」  
日時：6月3日(土)14:00 要予約  
場所：武蔵野公会堂2階会議室(東京)  
主催：出版NPO一本をたのしもう会  
電話：090(5399)4328
- 雑誌『週刊金曜日』、「日本国家憲法」に写真を連載中
- 山の学校の写真集を制作中です。9月発行予定!